

市の概況

豊岡市は昭和25年4月1日、人口31,610人、面積80.84km²をもって市制を施行し、兵庫県内において10番目の市として誕生しました。

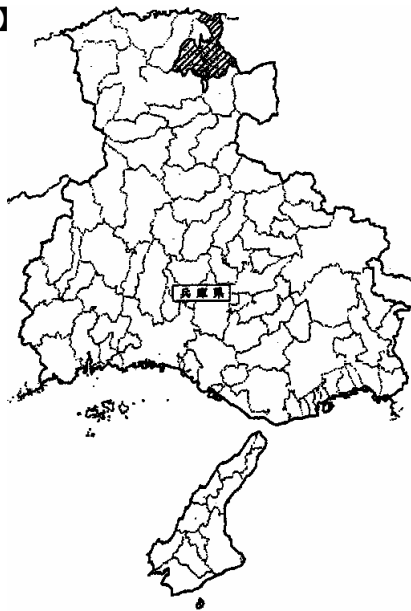
わが豊岡市は、兵庫県の北東部に位置し、北は日本海に、東は京都府に接しています。周囲を緑豊かな山々に囲まれて豊岡盆地が開け、その中央を清流円山川が日本海に注いでいます。河口から海岸帯には、天下の奇勝玄武洞、雄大な海岸美を誇る日和山公園、白砂青松の気比の浜がひろがり、さらに幸せを運ぶといわれる特別天然記念物コウノトリの棲息地としても知られています。

また、伝統である「柳ごうり」を源流に発展した“かばん産業”は、全国でも有数の生産地であり、日本を代表する「かばんのまち」でもあります。

現在、豊岡市では、すべての人々が自然に無理なく適合し、心の豊かさや生きる喜び、心身の健康を実感できるような「笑顔で日々の暮らしを楽しめるまちづくり」、長い歴史の中で培われた伝統・文化・風土を生かした「未来への責任」を果たすまちづくり、市民や団体、事業所との「参画と協働でつくるまちづくり」を基本理念に、「コウノトリ悠然と舞い 笑顔あふれる ふるさと・豊岡」をめざしています。

平成15年1月には、近隣の5町(城崎・竹野・日高・出石・但東)との広域合併をめざす「北但合併協議会」を設置し、新しいふるさとづくりを進めています。

【位置図】



【市章】



市章のいわれ

江戸時代の藩主京極氏の定紋四ツ目結の1つと豊岡の頭文字Tを組み合わせ、図案化したもので市が考案。

(昭和25年8月10日制定)

【市旗】

豊岡市の母なる川、円山川の悠久の流れの中に市章を配し、青、白、赤の3色を使い、それぞれ豊かな自然、人と自然の調和、人々の情熱をあらわしています。

(平成3年4月1日制定)



【市の木】 やなぎ(昭和55年4月1日制定)

【市の花】 コスモス(昭和55年4月1日制定)

【市の鳥】 コウノトリ(平成12年4月1日制定)

【姉妹都市】 スペイン アリカンテ市

(平成8年6月25日提携)

【豊岡市の宣言】

交通安全都市宣言(昭和37年1月25日)

世界連邦平和都市宣言(昭和42年3月22日)

衛生文化都市宣言(昭和43年9月28日)

青少年健全育成都市宣言(昭和53年6月29日)

生涯健康都市宣言(昭和63年9月30日)

【豊岡市市民憲章】

円山川の美しい自然と豊かな伝統のなかに生きるわたくしたちは、真実を愛し、平和を願い、大きく未来に羽ばたく豊岡の市民として、その誇りと責任を胸にこの憲章をさだめます。

1. 健康で働くことに生きがいを感じ、活気あふれる豊かなまちをつくります。
1. 子どもの夢や若い力を伸ばし、老人を敬う暖かいまちをつくります。
1. 進んで環境をととのえ、清潔で安全な住みよいまちをつくります。
1. たがいに人として認めあい、真心と親切で結ばれた明るいまちをつくります。
1. スポーツに親しみ芸術を愛し、文化のかおる楽しいまちをつくります。

(昭和47年4月1日制定)

【豊岡市歌】

櫻原 太郎 作詞
富田 碎花 選
木下 保 作曲

1. 朝は明けたり さやけき来日嶺^{くるひね}
父祖^{みおや}のこの土 我ら承けたり^う
国土^{こくし}出でたり 新人^{きん}競えり^ほ
栄えある歴史ぞ いざ継ぎゆくべし
羽ばたけ豊岡 不死鳥豊岡

2. 荒るる北海^あ 厳しき雪嶺^{きたうみ いが せつれい}
造化^{ぞうか}の試練に 我ら堪えたり^た
杞柳^{きりゅう}青めり 野に風かおれり
飛躍^{ひりゅう}のれいめい 仰ぎて謳わん^{うた}
羽ばたけ豊岡 不死鳥豊岡

3. 水はめぐれり 豊けき円山
自由の精神 我ら汲みたり
人は和したり 産業^{おこ}興れり
理想の自治体 誓って創らん
羽ばたけ豊岡 不死鳥豊岡

(昭和47年4月1日制定)

